

令和4年度

# 総会資料

(令和4年5月)

大阪実業教育協会

# 令和4年度 大阪実業教育協会総会資料 目次

(1) 会 議 .....	P1
(2) 研修員派遣 .....	P5
(3) 要 望 書 .....	P5
(4) 講演会・講習会・見学会 .....	P5
(5) 表 彰 .....	P6
(6) 研究活動奨励 .....	P9
(7) 要望書1 産業教育振興に関する要望 .....	P10
(8) 要望書2 大学入学者選抜に関する要望 .....	P14
(9) 要望書3 専門高校卒業生の採用に関する陳情 .....	P15
(10) 部会長委嘱 .....	P16
(11) 令和3年度収入支出決算書(案) .....	P17
(12) 基金の増減 .....	P18
(13) 令和3年度 会計監査報告 .....	P19
(14) 令和4年度 事業計画のための資料と事業計画 .....	P20
(15) 令和4年度収入支出予算書(案) .....	P23
(16) 関連事業・行事 .....	P24

# 令和3年度事業概要報告

会員皆様からのご意見をお伺いする機会を得ることに重点を置き、理事会機能を充実させた運営ができるように、令和2年5月会則を改正し、令和3年度は新会則により運営を行いました。

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施形態の変更や中止になった事業が生じました。

## (1) 会議

### ◆ 第1回 合同役員・幹事会（部会長・幹事校長会）

令和3年4月30日（金）15：30～16：30 大阪府立淀川工科高等学校 記念会館で開催計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月30日を期限に書面審議・意思表示書の提出をお願いいたしました。議案について**原案通り承認**されました。

#### 協議事項

##### (1) 理事会及び総会に付議する議案

1. 令和2年度事業報告並びに収入・支出決算報告（案）
2. 新年度役員（案）
3. 令和3年度事業計画並びに収入・支出予算計画（案）

大阪実業教育協会 令和3年度総会・研究協議会について

日時 5月14日（金）総会 9時～10時30分

研究協議会（講演会）10時35分～11時45分

場所 東洋紡株式会社 本社会議室（12階）

研究協議（講演会）

講師 東洋紡株式会社 常務執行役員（イノベーション部門の統括）

大田 康雄 様

演題 「企業の研究を取り巻く環境の変化（DXとSDGsを中心に）」

##### (2) 理事会（役員を選出 会則第10条）

##### (3) 国内産業教育研修員の派遣について（教頭研修）

A ローテーション（府、市立（鶴見商）、都市立（日新））

##### (4) 要望書について

本年度については、9月上旬の第2回合同役員・幹事会 で協議

##### (5) 講演会・講習会・見学会について

①第2回産業教育講演会・・・9月上旬の第2回合同役員・幹事会 で協議

②専門高校教員実技講習会・・・令和3年8月に実施予定

実技内容：「micro:bitによる計測・制御」

③会社・工場見学会

④会員大学への見学会

（一昨年まで4回実施、昨年は中止）本年度の見学会については今後検討

##### (6) 「全国産業教育フェア大阪大会」の預かり金の使途の確認について

府内の産業教育振興支援を目的に活用する。

①全国産業教育フェア一派遣補助

②専門高校等の生徒研究活動や成果発表等の補助

- (7) 第 31 全国産業教育フェア 埼玉大会 さんフェア埼玉 2021  
日時 : 令和 3 年 10 月 30 日 (土) 「夢と技術 彩の国から未来へ」  
会場 ・ウエスタ川越 (メイン会場)、  
・川越運動公園総合体育館 (全国高等学校ロボット競技大会)  
・埼玉県立川越総合高等学校 (フラワーアレンジメントコンテスト等)  
・彩の国すこやかプラザ (全国高校生介護技術コンテスト)

- (8) 令和 3 年度大阪産業教育振興協議会総会・研究協議会 (講演会) について  
日時 : 令和 3 年 7 月 5 日 (月) 15 : 00~17 : 00  
場所 : 興國高等学校  
議題 : ・令和 2 年度事業 ・会計報告  
・令和 3 年度事業計画・予算 ・会則一部改正 (案)  
講師 : 帝塚山学院大学 教授 (博士 (工学)) 喜家村 奨 様  
演題 : 「中・高の連携したプログラミング教育 (仮題)」

- (9) 各種要望書の提出  
「産業教育振興に関する要望書」「専門高校卒業生の採用に関する陳情書」  
「専門高校卒業生の進学機会の拡大等に関する要望書」  
宛先 : 大阪府教育長、大阪市教育長、  
堺市教育長、岸和田市教育長、東大阪市教育長  
大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済連合会、会員大学 (10 大学)

## 報告・依頼事項

### I 本協会関係

- (1) 令和 3 年 (2021 年) 度 高等学校 (専門・総合学科等) 生徒数調査 (5 月 1 日現在)
- (2) 令和 3 年 (2021 年) 度卒業生大学推薦入試合格状況調査
- (3) 後援並びに助成事業
  - ・第 29 回「大阪府産業教育フェア」後援・助成予定  
会場掲示物 (企業名・大学名入り) …本年度も実施の方向で検討
  - ・全国工業高等学校長協会第 69 回研究協議会大阪大会 後援・助成予定

### II 中央会関係 大阪実業教育協会のHPに文書を掲載

- ・全国産業教育振興会連絡協議会 ……中止
- (1) 「令和 3 年度産業教育改善に関する特別研究」助成について (5/14 締切り)
- (2) 「令和 3 年度産業実地研修」 ……本年はオリンピックがらみで中止になりました。
- (3) 「令和 3 年度教員海外産業教育事情研修派遣候補者の推薦について」
- (4) 「令和 3 年度御下賜金記念産業教育功労候補推薦について」
- (5) 「令和 3 年度専門高校生徒の研究分・作文コンクールについて」  
本協会も並行して審査 副賞 (図書カード)

## ◆ 第 1 回理事会

令和 3 年 5 月 7 日 (金) 10 : 00~11 : 00 大阪府立淀川工科高等学校 記念会館で開催計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、5 月 7 日を期限に書面審議・意思表示書の提出をお願いいたしました。

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告並びに決算報告 (案)

第 2 号議案 新年度役員改選 (案)

### 第3号議案 令和3年度事業計画並びに予算（案）

上記の議案は原案通り承認されました。

## ◆ 総 会

令和3年5月14日（金）9：00～10：30 東洋紡株式会社 本社で開催計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に続き総会の開催を中止し、書面審議での決議をお願いしました。

書面表決書は、令和3年5月20日を締切日としてご提出いただきました。

書面審議書類送付数 139 通、表決書受理数（有効）111 通、（無効）0 通でした。  
議案ごとの結果は、

第1号議案 令和2年度事業報告並びに決算報告 【承認】111 ・【承認しない】0

第2号議案 令和2年度監査報告の件 【承認】111 ・【承認しない】0

第3号議案 令和3年度新役員の件（理事会（案）の承認の件） 【承認】111 ・【承認しない】0

第4号議案 令和3年度事業計画並びに予算（案） 【承認】111 ・【承認しない】0

以上の結果 第1号議案から第4号議案まで、全ての議案について、過半数以上の【承認】をもって可決されました。

## 令和3年度事業計画（案）

- ・令和2年度の事業評価を参考に、事業計画を現状に合わせて変更しました。
- ・変更箇所は、令和2年度に比べ 項目3、5、6の一部を変更しました。（下線部）

- 1 国内産業研修員の派遣
- 2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業  
（企業、大学と学校との情報交換等）
- 3 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業  
（講演会・研修会・見学研修会（企業、大学）等）
- 4 生徒に対する研究活動の奨励（研究文・作文・体験発表等と表彰）
- 5 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨
- 6 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する
- 7 協会基礎強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

## ◆ 第2回 合同役員・幹事会（部会長・幹事校長会）

第2回合同役員・幹事会を会則第18条に基づき、

令和3年9月17日（金）15：50～16：30 で開催しました。

ただ、新型コロナウイルス感染拡大が続いており、従来型の会議形式で開催するには無理な状況でありましたので、オンライン会議（Zoom会議システム）で開催いたしました。

Zoom会議に不参加の場合の議案のご承認は、意志表示書のご提出でお願いしました。

## 協議事項

### (1) 要望・陳情書 について

- ① 令和2年度産業教育振興に関する要望書（産業教育振興にかかわる予算の拡充の要望）  
（大阪府・大阪市・都市立 各教育委員会 宛）  
[本協会と大阪産業教育振興協議会会長の連名文書]
- ② 専門高校生の採用に関する陳情書  
（大阪商工会議所・関西経済連合会・関西経済同友会 宛）  
[中央会及び本協会と大阪産業教育振興協議会会長の連名文書]
- ③ 大学入学者選抜に関する要望書（会員10大学長 宛）  
[中央会及び本協会と大阪産業教育振興協議会会長の連名文書]

### (2) 当協会後期研修事業

- ① 国内産業教育研修員派遣（教頭研修） ⇒ 中止します。
- ② 会員大学の見学会 ⇒ 中止します。
- ③ 見学研修（会社・工場見学） ⇒ 本年度も、中止方向で検討
- ④ 産業教育講演会（第2回）⇒ 実施方法を含め検討中です。  
日時 令和3年11月～12月頃（予定）（5月の総会後に計画した講演会）  
演題 「企業の研究を取り巻く環境の変化（DXとSDGsを中心に）」  
講師 東洋紡株式会社  
常務執行役（イノベーション部門の統括）大田 康雄 様

### (3) 協会の会則と基盤強化について

提案：「中学校との連携について」

### (4) その他（預かり金（全国産業教育フェア大阪大会）の取り扱い）

「平成20年開催、第18回全国産業教育フェア大阪大会」の預り金（管理）について  
「申し合わせ事項」預り金の取り扱いは、【府内の産業教育振興支援を目的】に活用する。

- ① 全国産業教育フェア一派遣補助
- ② 専門高校等の生徒研究活動や成果発表等の補助

**【 以上原案通り承認されました 】**

## 依頼・報告事項

### ①産業教育功労者表彰について

- ・表彰伝達式：令和3年11月5日（金）午後 東洋紡株式会社 本社
- ・推薦：大阪府 4校 7名、大阪市 8校12名 計 12校 19名

### ②専門高校優良卒業生の選奨について

- ・中央会（専門高校等御下賜金記念優良卒業生選奨事業）：各校1名
- ・本協会及び大阪産業教育振興協議会連名で表彰：各校1名（副賞付）

### ③ 第31回全国産業教育フェア埼玉大会

「令和3年10月30日（土）新型コロナウイルスの感染症の感染拡大によりWEB開催  
本年度の全国産業教育フェア（埼玉大会）には、大阪府からの派遣はありません。」

### ④「令和2年度 専門高等学校生徒の研究文・作文コンクール参加作品」の募集

- ・9月9日（木）締切り（当協会）、中央会締切り 9月13日（木）  
応募作品（1部）と電子データ（USB又はCD）提出
- ・研究文は、A4タテ版（1頁2段組 ヨコ22字タテ38行）6頁以内
- ・作文は、A4タテ版（1頁2段組 ヨコ22字タテ38行）2頁以内

- ⑤ 専門高校教員実技講習会（第43回） 「Micro:bitによる計測・制御」  
8月6日（金）に実施いたしました。12校25名参加  
（於：大阪市立都島工業高等学校）

## （2）研修員派遣

### ◆ 国内産業教育研修員の派遣（45回）

本年度は昨年続き、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止しました。

## （3）要望書

### ◆ 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業（企業、大学と学校との情報交換等）

#### 要望書・陳情書について

- ① 産業教育振興に関する要望書、専門高校卒業生の採用に関する陳情について

関西経済3団体

- ・ 9月27日（月）大阪商工会議所
- ・ 9月28日（火）関西経済同友会
- ・ 10月6日（水）関西経済連合会 へ陳情

【公益財団法人産業教育振興中央会 会長 浦野 光人 ほか10団体名の文書】

【大阪実業教育協会 会長 坂元 龍三、大阪産業教育振興協議会 会長 草島 葉子 連名文書】

- ② 令和2年度産業教育振興に関する要望書

- ・ 9月16日（水）堺市及び衛星都市教育委員会へ陳情（教育長宛）（郵送）
- ・ 9月28日（火）大阪市教育委員会 指導部長（教育長宛）
- ・ 11月11日（木）大阪府教育庁 教育監（教育長宛）

【大阪実業教育協会会長 坂元 龍三 ・大阪産業教育振興協議会 会長 草島 葉子 連名文書】

- ③ 大学入学者選抜に関する要望書（会員10大学長 宛）10月末で終了（内3大学は郵送）

【大阪実業教育協会会長 坂元 龍三 ・大阪産業教育振興協議会 会長 草島 葉子 連名文書】

## （4）講演会・講習会・見学会

### ◆ 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業

#### （講演会・研修会・見学研修会（企業、大学）等）

- ① 研究協議 講演会（第1回）

下記の内容で計画したが、新型コロナ感染拡大防止の観点から中止  
講演会内容

講師 東洋紡株式会社 常務執行役（イノベーション部門の統括）大田 康雄 様  
演題 「企業の研究を取り巻く環境の変化（DXとSDGsを中心に）」

- ② 専門高校教員実技講習会（第43回）

実施日 令和3年8月6日（金）10:00～15:30 12校25名参加

内容 「micro:bitによる計測・制御」

主催 大阪実業教育協会

会場 大阪市立都島工業高等学校

- ③ 見学研修会（会社・工場見学） コロナ禍の状況では実施不可と判断し中止

- ④ 大学見学会 コロナ禍の状況では実施不可と判断し中止

⑤ 産業教育講演会（第2回）（Zoomによる開催）

日時 令和3年11月26日（金）15:00～16:50（Zoom参加受付15:00～15:15）

演題 「サステナブル社会実現のための東洋紡の取り組み」（講演時間60分）

講師 東洋紡株式会社

常務執行役員（イノベーション部門の統括）大田 康雄 様

参加 24名

（5）表 彰

◆ 御下賜金記念産業教育功労者表彰（産業教育振興中央会の事業）

御下賜金記念産業教育功労者表彰（産業教育振興中央会の事業）

受賞者：19名（大阪府7名、大阪市12名）

（60歳以上、勤続30年以上で産業教育に功労のあった人）

伝達式：令和3年11月4日（水）14:00～ 東洋紡株式会社 本社ビル 会議室

- ・坂元会長から表彰状を伝達
- ・来賓として、大阪府教育庁指導主事、大阪市教育委員会事務局指導主事
- ・伝達式後、坂元会長、来賓と記念撮影

大阪府立淀川工科高等学校	教 諭	岡 野 一 也
大阪府立淀川工科高等学校	教 諭	濱 田 健 司
大阪府立布施工科高等学校	校 長	森 村 利 和
大阪府立布施工科高等学校	教 諭	鶴 田 峰 久
大阪府立布施工科高等学校	教 諭	金 野 隆 雄
大阪府立藤井寺工科高等学校	指導教諭	増 田 裕 至
大阪府立堺工科高等学校	教 諭	尾 崎 公 哉
大阪市立 西 高等学校	首 席	濱 田 哲 也
大阪市立 西 高等学校	主務教諭	前 川 佳 規
大阪市立 西 高等学校	主務養護教諭	立 花 美 香
大阪市立扇町総合高等学校	主務教諭	萩 原 克 志
大阪市立鶴見商業高等学校	主務教諭	勝 間 慶 一
大阪市立都島工業高等学校	校 長	柘 原 康 友
大阪市立泉尾工業高等学校	校 長	飯 尾 吉 司
大阪市立泉尾工業高等学校	教 諭	渡 邊 邦 雄
大阪市立工芸高等学校	校 長	橋 本 嘉 平
大阪市立中央高等学校	主務教諭	今 井 尚 人
大阪市立第二工芸高等学校	校 長	妻 谷 康 二
大阪市立第二工芸高等学校	教 頭	山 本 富 士 仁

◆ 優良卒業生の選奨・表彰

- ・公益財団法人産業教育振興中央会から（産業教育振興中央会会長 浦野光人）優良卒業生（54名）の選奨・表彰を受け、本協会より伝達しました。
- ・本協会並びに大阪産業教育振興協議会から、会員各専門高校の優良卒業生（106名）を表彰しました。（各校2名・副賞付）  
（本協会 坂元龍三会長並びに大阪産業教育振興協議会 草島葉子会長名）

学校名（高等学校）	大阪実教・大阪産振協 会長賞		産振中央会
	氏名	氏名	氏名
園 芸	藤原詩織	梶師一留薫	林 凱斗
農 芸	畑 木実	北田 悠	田間 鈴音
豊中高校 能勢分校	小花雄希	三浦和真	安井蓮斗
枚 岡 樟 風	神田彩香	福田瑛士	松山苑夏
西 野 田 工 科	伊原享汰	宮前太一	吉本貴哉
〃（定時制）	丹羽隼人		
淀 川 工 科	小脇乃愛	福本想音	白井 諒
今 宮 工 科	谷口 蓮	松本雄大	上野昂太郎
〃（定時制）	八田勝斗	久保雄大	佐藤 匠
茨 木 工 科	橋本秀治	小糸紫陽	矢野寿気
城 東 工 科	笠間隼人	高村也仁	坂野裕大
布 施 工 科	山岡 照	原 マーク マサヒラ	加藤 僚
藤 井 寺 工 科	保田澄輝	西谷一緒	信田快斗
〃（定時制）	金森脩人	梅原勇人	北野大樹
堺 工 科	亀井愛生	福德祐太	片山聖陽
〃（定時制）	大川内和輝	張本浩代	最所美怜
佐 野 工 科	宮路偲愛	稲田薫人	松本柗太
〃（定時制）			森 陸志
成 城	西村七海	金田成司	岡本菜々薫
東 住 吉 総 合	高見綾香	貫野勇希	永村 芽
貝 塚	神谷美優		戸田波音
港 南 造 形	山下夢多羽	新田琴美	横長咲津紀
西	和田真依	小野妃菜梨	皆吉真佑
西	長岡柗汰	野村涼真	和富 佑
扇 町 総 合	高橋芽五	野見山なつみ	盛口爽佳
大阪ビジネスフロンティア	加賀谷沙羽	富田花蓮	宮本 董

学 校 名 ( 高 等 学 校 )	大阪実教・大阪産振協 会長賞		産振中央会
	氏 名	氏 名	氏 名
淀 商 業	光岡 雅	田原萌絵香	重野聖空
淀 商 業	岩岡陽菜	河野愛佳	植野真心
鶴 見 商 業	西村日和	永田風音	西 捺稀
住 吉 商 業	島田心菜	西岡楓恋	川岸聖那
都 島 工 業	谷田広大	寺内涼馬	津邨将大
東 淀 工 業	石垣洸河	前田 修	川口俊彰
生 野 工 業	田川 竜	相本勇斗	加世田左京
泉 尾 工 業	植田雅之	佐藤涼佳	山本紫苑
工 芸	藤井七星	下地亜衣	伊藤さくら
咲くやこの花	橋本日菜	森下千紘	市橋沙菜
咲くやこの花	山下 優		
中 央	牛尾 勝	後藤 命	松山友樹
都 島 第 二 工 業	太田 要	岸谷太郎	加藤 隼
第 二 工 芸	松代美月	中川和叶	白澤滯味
堺 市 立 堺(全日制)	吉田琴美	堀之内薫	奥野 奏
〃 (定時制)	柴谷綾人	橋本陸翔	岸川真生
東 大 阪 市 立 日 新	長田章吾	横井望央	中井優花
岸和田市立産業(全日制)	阿部萌霞	岩屋夏音	秦 希実
〃 (定時制)			澤田達也
昇 陽	藤本奈津希	市田亜優美	藤原 希
興 國	福原 啓	中村崇力	嶋田夢翔
大 商 学 園	中道優月	入山桃寧	向山湧斗
星 翔	小池 昂	大川晃輝	浅井勇太
大阪電気通信大学	豊田暖太	村田信明	中村篤哉
向 陽 台 (通信制)	鈴木南奈	山下華月	鈴木大稀
〃 (通信制)	秋里翔真	平谷友哉	林 湧大
〃 (通信制)	山本早彩	高田英梨紗	春山心彩
〃 (通信制)	神里咲実佳	今藤百々佳	久保田陽秀
長 尾 谷 (通信制)	岡本千明	藤森伸行	梶原恵麻
科学技術学園(通信制)	藤原亜美		藤井恵理奈
大 成 学 院	小島大輝	椿原瑚葉	

## (6) 研究活動奨励

### ◆ 専門高校生徒の研究活動奨励に関する事業（令和3年9月～12月）

専門高等学校生徒の研究文・作文の募集・表彰

我が国が発展し活力ある社会を築いて行く上で、「しごと」に直結する知識や技術を学ぶ専門高校には、大きな期待と役割が求められている。このため、専門教育に対する社会からの関心を高め、専門高校の活性化を図るため、専門高校の生徒を対象に、(公財)産業教育振興中央会及び(公社)経済同友会の共催による「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」が実施されています。

本協会においても大阪産業教育振興協議会と共催で審査・表彰をしました。(9月)

本年度は研究文5編と作文7編の応募があり、農業分野：研究文4編、作文3編、工業分野：研究文1編、作文4編作文4編の計12編を中央会へ応募しました。

本年度は産業教育振興中央会の審査において、農業分野：研究文1編が佳作に、作文1点が(公社)経済同友会賞に選出されました。

### ◎ 産業教育振興中央会の審査結果

#### (1) 研究文 {佳作}

「ザクロ果実の機能性に関する研究」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

3年 酒井 彩那 大益 美優 塚田 麗

#### (2) 作文 {経済同友会賞}

「見えない絆」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 1年 新井 心優

### ◎ 大阪実業教育協会・大阪産業教育振興協議会の審査結果

#### (1) 研究文

{優秀賞}

##### ① 「ザクロ果実の機能性に関する研究」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 微生物部

3年 酒井 彩那 大益 美優 塚田 麗

##### ② 「測量大会に向けて、その結果」

大阪市立都島工業高等学校 都市工学科 3年 大曾 健

{優良賞}

##### ① 「竹チップを用いたコショウランの栽培」

大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科 植物バイオ部

3年 谷田 美桜 藤原 詩織 山添 日和 上原 翼

2年 山本 ゆり菜 米山 優里

1年 勝又 彩里

##### ② 「ヒメボタルの保護活動に取り組んで」

大阪府立園芸高等学校 環境緑化科 3年 遠近 深空

{佳作}

##### ① 「新しい殺菌剤開発の試み」 ～薬液の混合による殺菌力の変化～

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 3年 岡本 晃

(2) 作文

{優秀賞}

① 「見えない絆」

大阪府立園芸高等学校 バイオサイエンス科 1年 新井 心優

② 「電験三種の勉強を通して」

大阪市立都島工業高等学校 電気電子工学科 3年 濱田 優弥

{優良賞}

① 「植物で手をつなごう！」～花の持つ力～

大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科 2年 米山 優理

② 「専門高校生のひとりとして」

大阪市立都島工業高等学校 建築科 3年 青木 大輔

③ 「将来への道」

大阪市立都島工業高等学校 理数工学科 3年 久保 輝明

{佳作}

① 「新しいビオガーデン」 ～（ハニービーガーデン）を普及させたい！～

大阪府立園芸高等学校 フラワーファクトリ科 3年 森 直人

② 「特別な体験」

大阪市立都島工業高等学校 機械科 3年 蓬萊 由稀

作品の審査に、元大阪府立園芸高等学校 校長 秋澤亮一 先生、および 大阪府立西野田  
工科高等学校 校長 福岡 優 先生には、多大なご協力をいただきました。

## (7) 要望書 1

### ◆ 要 望 書

産業教育予算確保等産業教育振興に関し、大阪府・大阪市・衛星都市各教育委員会に、次のと  
おり陳情した。

令和3年11月11日

大阪府教育委員会

教育長 橋本 正司 様

大阪実業教育協会  
会長 坂 元 龍 三

(東洋紡株式会社 相談役)

大阪産業教育振興協議会  
会長 草 島 葉 子

(興國高等学校 理事長・校長)

## 令和3年度産業教育振興に関する要望書

大阪府教育委員会におかれましては、平素から産業教育の振興に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今日の我が国の産業界は、AI や IoT などの技術の急速な発展に伴い革新の時代を迎えています。少子・高齢化に伴う生産年齢人口の減少、グローバル化が進む労働環境そしてデジタルトランスフォーメーションのさらなる進展と相まって、従来の就業構造は大きく変化するものと思われまます。

このように急速かつ大きく変わる世の中の動きに、これからの我が国の発展を支えて行く専門高校の人的、物的な教育資源・環境が追い付いていない現状もあります。

来年度からは、高等学校での新しい学習指導要領が学年進行で実施されますが、我が国が将来にわたり豊かな社会を築いていく上において専門的職業人の育成は不可欠であります。

現在まで府内における専門学科・総合学科高等学校では、実践的・体験的な学習活動により、学校毎に特色ある教育の推進に努められ、専門的な知識、技術・技能を身につけた職業人を育成・輩出して来られました。平成26年度からは、府内におけるものづくり教育の活性化に向け、工科高校を高大連携重点型・実践的技能養成重点型・地域産業連携重点型に分類し人材育成の重点化を図られ、平成28年度からは工科高校魅力化推進プロジェクトも立上げられています。

大阪府におかれましては策定されている再編整備計画を基本に、令和4年度から大阪市の高校が大阪府へ移管されるに伴い、産業界の中核となる人材育成について更なるご理解・ご支援をいただきますとともに、新年度予算編成にあたり、産業教育振興法の趣旨に則り、下記の事項に関して、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 新学習指導要領の趣旨を実現するための教育施設・設備及びICT教育環境の整備推進
  - (1) 全国的な教育水準を維持・担保するための
    - ①老朽化した施設・設備の更新、
    - ②最先端の技術を学ぶために必要な教育用施設・設備の整備
    - ③少人数で実験・実習に取り組むための施設・設備の整備
  - (2) 工業実習棟、商業実習棟の空調設備の整備及び国家資格養成施設（電験認定設備、ガス技能講習関連装置）などの整備推進
- 2 産業教育担当教職員の養成・採用・研修等の充実について
  - (1) 専門教科担当教員の大学等での養成の拡充（高大連携）
  - (2) 専門教科担当教員の採用枠の拡大（定数の改善）
  - (3) 産業教育担当教員の専門性を高める研修の実施  
（技術教育の充実、技能伝承に関する現職教育の充実）
  - (4) 社会人実務経験者への特別免許状の授与及び社会人講師任用の促進
- 3 専門高校の教育内容(職業教育)の充実
  - (1) 産業界が中核となり地元自治体等と連携し、地域産業を支える職業人を育成するための革新的な教育課程の研究開発・実践への支援
  - (2) 専門分野における最先端かつ伝統的な知識、技術・技能をも学べる先進的な取組や特色ある教育活動への支援
  - (3) 職業人に求められる規範意識や倫理観、コミュニケーション能力、実践的能力等を身に付けるための長期インターンシップの実施のための仕組みづくりの推進
  - (4) 各種国家資格、専門高校の校長会等で実施する各種検定及び認定制度等が、社会において適切に評価・活用される取組等の推進

- (5) 社会や産業界の変化に応じた最新の教育が可能な教育環境の実現のため、地域の産業教育の中心校（拠点校）となると共に、新技術の研究や時代に即したカリキュラムを開発し、情報発信できる単独の専門学科からなる専門高校の維持・新設のための支援
- 4 私学産業教育の振興について  
産業教育振興法に基づく産業教育設備事業計画についての大阪府補助金（国庫補助金と同額）の交付が昭和51年度より停止されています。府内における私立産業教育関係高校の教育振興を図るためにも、大阪府私立高校等教育振興補助金の拡充等について、なお一層のご配慮をお願いします。
- 5 進路指導等の改善充実について  
進路指導の改善充実を促進するため、次の項目について実現をお願いします。  
(1) 専門学科・総合学科卒業者に対する雇用機会の一層の拡充確保  
(2) 就業体験・社会奉仕・自然体験等の体験活動の普及促進と受入れ企業・団体等に対する支援  
(3) 産業教育活性化とその啓発に大きな成果を上げている「大阪府産業教育フェア」に要する補助金の増額  
(4) 各種職業資格・検定等の拡充と取得対策の推進  
(5) 大学、地域社会及び産業界等との連携や協力関係の強化
- 6 大学入学者選抜方法の改善について  
大学、短大における入学者選抜について、一層の改善が図られるようご支援をお願いします。  
(1) 「専門高校・総合学科卒業生選抜」制度導入の拡大及び「推薦入学」制度の拡大  
(2) 調査書における専門科目の学習成果、特技及び取得した職業資格等の重視、インターンシップ活動等への配慮  
(3) 学力検査への専門科目の導入と拡大  
(4) 専門高校卒業者への補習授業や特別カリキュラムの実施の拡大
- 7 専門高校の理解・啓発について  
(1) 小・中学校の教職員や保護者に対する専門高校についての理解・啓発の促進  
(2) 中学校における「技術・家庭科」の専任教員配置の促進並びに教育の充実  
(3) 生徒の個性や目的意識を尊重した中学生の主体的な進路選択の支援  
(4) 専門高校生徒の学習成果発表の場である「大阪府産業教育フェア」等への支援  
(5) 専門高校生徒の長期間インターンシップの受入れ企業等への普及促進

令和3年9月28日

大阪市教育委員会  
教育長 山本 晋次 様

大阪実業教育協会  
会長 坂元 龍三  
(東洋紡株式会社相談役)

大阪産業教育振興協議会  
会長 草島 葉子  
(興國高等学校 理事長・校長)

## 令和3年度産業教育振興に関する要望書

大阪市教育委員会におかれましては、平素から産業教育の振興に格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今日の我が国の産業界は、AIやIoTなどの技術の急速な発展に伴い革新の時を迎えています。少子・高齢化に伴う生産年齢人口の減少、グローバル化が進む労働環境そしてデジタルトランスフォーメーションのさらなる進展と相まって、従来の就業構造は大きく変化するものと思われまます。

大阪市教育委員会はこれまで特色ある高校づくりに取り組まれ、平成14年に策定された「大阪市教育改革プログラム」以降、社会の変化や生徒の個性の多様化に対応するため、一層の特色化を進めるとともに、新しい時代に対応する教育の創造に向けた教育改革に取り組んでこられました。

こうした中、多様な課程や学科等を備える高等学校教育について、広域的な視点で対応する方がより効果的・効率的であるとの観点から、平成25年11月に大阪府教育委員会・大阪市教育委員会から再編整備計画が策定され、引き続き令和3年1月に平成31年度から2023年度までの再整備計画が策定されました。

令和2年2月、「Society5.0で実現する社会に求められる大阪の産業人材育成を担う新たな工業系高等学校の在り方について」の内容で、大阪市高等学校教育審議会へ諮問され、令和2年8月第13次答申が手交されました。

大阪市高等学校教育審議会への諮問理由では、「就職希望者の就職率が高水準を維持していること、地域の生徒の学び場としての役割があることなど一定のニーズがある一方で、長期的な少子化傾向に加え、ここ数年顕著に見られる中学生・保護者等の普通科志向により志願状況は非常に厳しい状況にあることから、同様の観点から再編整備を進めることで工業系高等学校のさらなる魅力化を図る必要があると考える」と示されています。

また、第13次答申では、文部科学省「学校基本統計」よりのデータから、「近年の15歳未満人口の減少と大学・短大進学率の高まりにより、生徒や保護者が高等学校選択時に普通科系高等学校を志願する傾向が強まっており、一部の学校では志願者不足により在籍生徒が減少し、そのことが学校全体の活性化に少なからず影響を与えている状況である」と分析されています。

現在、社会のグローバル化、IT化がますます進展しており、職業人に求められる技術や技能も高度化、多様化する時代においては、専門高等学校においてもこのような時代に適応した新しい知識・技術を身につけた人材の育成が求められております。

令和4年度から大阪市立の高校は大阪府へ移管されますので、大阪府教育委員会へは「専門高校の教育内容(職業教育)の充実」について、従来通り次のような内容を要望しております。

### ◎「専門高校の教育内容(職業教育)の充実」

- (1) 産業界が中核となり地元自治体等と連携し、地域産業を支える職業人を育成するための革新的な教育課程の研究開発・実践への支援
- (2) 専門分野における最先端かつ伝統的な知識、技術・技能をも学べる先進的な取組や特色ある教育活動への支援
- (3) 職業人に求められる規範意識や倫理観、コミュニケーション能力、実践的能力等を身に付けるための長期インターンシップ実施のための仕組みづくりの推進
- (4) 各種国家資格、専門高校の校長会等で実施する各種検定及び認定制度等が、社会において適切に評価・活用される取組等の推進
- (5) 社会や産業界の変化に応じた最新の教育が可能な教育環境の実現のため、地域における産業教育の中心校(拠点校)となると共に、新技術の研究や時代に即したカリキュラムを開発し、情報発信できる単独の専門学科からなる専門高校の維持・新設のための支援

また、専門高校が現在の高学歴志向に対応できるように「大学入学者選抜方法の改善」が必要との観点から大学へは次のような内容を要望しております。

◎「大学入学者選抜方法の改善」

- (1) 「専門高校・総合学科卒業生選抜」制度導入の拡大及び「推薦入学」制度の拡大
- (2) 調査書における専門科目の学習成果、特技及び取得した職業資格等の重視、インターンシップ活動等への配慮
- (3) 学力検査への専門科目の導入と拡大
- (4) 専門高校卒業生への補習授業や特別カリキュラムの実施の拡大

専門高校等のニーズ調査（東京都）によれば、「専門高校の良さが広く認知されていないことが示された」とあり、本市高等学校教育審議会第13次答申では「小中学校におけるキャリア教育の在り方も専門（工業系）高校の存在を大きく左右する要因であり、総合的な教育施策の観点からの整備にも期待する」とあります。本年度から、大阪市教育委員会へは、中学生、保護者及び中学校への「専門高校の理解・啓発」が重要と考え、次の3点について特に要望いたします。

◎「専門高校の理解・啓発」

- (1) 小・中学校の教職員や保護者に対する専門高校についての理解・啓発の促進
- (2) 中学校における「技術・家庭科」の専任教員配置の促進並びに教育の充実
- (3) 生徒の個性や目的意識を尊重した中学生の主体的な進路選択の支援

大阪市教育委員会におかれましては、新年度予算編成にあたり上記の事項に関して、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## (8) 要望書 2

### ◆ 要 望 書

大学入学選抜における推薦入学制の採用・拡大について、両会長名をもって府内各大学に、次のとおり要望を行った。

令和3年10月1日

大 学  
学 長 様

大 阪 実 業 教 育 協 会  
会 長 坂 元 龍 三  
(東洋紡株式会社 相談役)  
大 阪 産 業 教 育 振 興 協 議 会  
会 長 草 島 葉 子  
(興國高等学校 理事長・校長)

## 大学入学者選抜に関する陳情

専門高等学校（以下「専門高校」）からの大学入学者選抜に関しては、公益財団法人産業教育振興中央会並びに全国産業教育振興連絡協議会において、従来から対策実行委員会を設け、関係団体への陳情を推進して参りました。

「専門高校における教育の在り方等について」生涯学習推進の視点から、継続的に専門能力の向上を図るために、専門高校卒業生に大学などの多様な学習機会を拡大することの重要性が指摘されています。

そのためには、大学入学者選抜において「専門高校及び総合学科を有する高校の卒業生選抜・推薦入学」の一層の拡大、可否判定に当たっての「職業資格重視」、学力試験での「専門教科・科目の出題」などの配慮や工夫が求められています。このことにつきましては、各専門高等学校長協会ともども全国的に強力な運動を推進しております。

つきましては、別添の要望書をご高覧賜り、何とぞ特段のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

特に、民間企業の採用意欲が高い現在、専門高校教員の確保につきましては厳しい状況があります。貴大学におかれましては、我が国の産業教育の重要性に鑑み教員の養成に一層のお力添えをお願いいたします。

専門高校出身の専門科目担当教員は、今まで専門技術に卓越し、実践力に富み、実験・実習の指導に優れた成果を収めていることから、このような教員の養成、確保・採用は全国の専門高校においての共通の課題であり、強い要望であることを申し添えます。

### (9) 要望書 3

#### ◆ 要 望 書

専門高校卒業生の採用について、産振中央会とともに大阪実業教育協会と大阪産業教育振興協議会の両会長名等をもって、在阪経済三団体（大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会）に次の通り陳情を行った。

令和3年9月22日

大阪商工会議所 様  
関西経済連合会 様  
関西経済同友会 様

大阪実業教育協会

会 長 坂 元 龍 三  
(東洋紡株式会社 相談役)

大阪産業教育振興協議会

会 長 草 島 葉 子

(興國高等学校 理事長・校長)

## 専門高校卒業生の採用に関する陳情

〔 農業・工業・商業・家庭・看護・情報・・・福祉等  
の専門学科及び総合学科 〕

平素から産業教育の振興発展のために、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、近年の傾向として、求人件数が右肩上がりに増加し、企業の採用意欲は高く推移しておおむね好調でありましたが、昨年度からの「新型コロナウイルス感染症」の影響を業種によっては少なからず受けており、文部科学省の調査によれば、全国平均が97.9%で、前年同期の98.1%から、0.2ポイント減の結果となりました。

男女別では、男子 98.4%（前年同期比0.1ポイント減）、女子 97.1%（前年同期比0.4ポイント減）、学科別では、「工業」99.4%、「農業」99.0%、「商業」98.7%、「水産」98.6%、「家庭」97.9%、「看護」99.2%、「情報」97.0%、「福祉」99.0%、「総合学科」97.8%、「普通」95.9%でありました。

就職に関して不確定な要素があることから、就職活動に不安を持っている生徒達も多くいます。生徒が安心して就職活動に臨めるよう、中長期的な視点に立って採用を進めて頂き、引き続き、令和4年3月卒業予定者のための就職機会の確保に向けた努力をお願いします。

現状の課題として、就職後3年以内の離職率は、業種別、規模別では異なりますが、厚生労働省全国調査では、新卒者の就職後3年以内の離職率は、高卒で39.5%（平成29年3月卒業者の状況）とのことです。専門高校では、より確かな社会人基礎力を身につけて卒業し、我が国の将来を担う専門的職業人となることをめざしています。

専門高校の指導の基本は、①専門教科及び実習を通して、基礎学力の向上や共同で課題を解決する能力の育成、②基本的生活習慣の指導を通して、礼儀や規律の遵守、③進路指導を通して、職業意識の向上や勤労観・職業観の育成（キャリア教育）などであり、在学中に、職業資格取得や検定合格などを積極的にすすめることにより、その達成感が、更なる意欲の向上につながるよう、人間形成の面でも職業意識の涵養が図れるよう指導の改善に努めております。つきましては、今後とも、専門高校の教育になお一層のご理解を賜り、前途有為な卒業生の採用について、特段のご高配をくださいますようお願いいたします。

### （10）部会長委嘱

#### ◆ 部会長の委嘱

次の方々に各部会会長を委嘱し、今後の部会活動の発展を期することとした。

農業教育部会長	大阪府立園芸高等学校校長	眞鍋 政明 様
工業教育部会長	大阪府立堺工科高等学校校長	中田 浩史 様
商業教育部会長	大阪市立鶴見商業高等学校校長	大東 正之 様

### (13) 令和3年度 会計監査報告

大阪実業教育協会の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の一般会計並びに基金会計の収支決算の各項目について、関係諸帳簿に基づき詳細に監査しました結果、いずれも適法適正であり、また、妥当であることを認めましたので、報告いたします。

令和4年4月12日

大阪実業教育協会 監事

中野剛志 (印)

駒井知一 (印)

## (14) 令和4年度 事業計画のための資料と事業計画

下記の期間に12月までの令和3年度の事業報告を基に幹事会・理事会の皆様にご意見・ご提言お願いしました。

令和4年度の事業計画を立てる上で、大変貴重なご意見・ご提言をいただきました。

(幹事役員の皆様：令和3年12月～令和4年1月、理事役員の皆様：令和4年2月～令和4年3月に依頼)

国内産業研修員の派遣 (教頭研修)	令和3年度	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍からの状況改善があれば是非実施願いたい。</li> <li>・学校運営に資することから継続的な実施が望ましい。</li> <li>・現状に適応した派遣しやすい方法の検討が必要。</li> <li>・訪問先については、生徒の就職先企業、新たな成長企業、他地域の工業高校、大学の施設学部や境界領域の学部など柔軟に計画していただきたい。</li> </ul>
		幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・是非継続していただきたい事業である。</li> <li>・教頭は大変仕事量が多いので、事前に派遣プランを提示して募集という方法はどうか。</li> </ul>
実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業 (要望書・陳情書)	令和3年度	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望なくば、関心も薄れてしまうリスクがある。</li> <li>・必要な取組みであり、強化していただきたい。</li> <li>・幹事会の意見に賛同、特に産業界・大学との一層の連携を図りたい。</li> <li>・大阪府・大阪市の専門高校の統合があり、教育行政との関係を密になるよう協会として進めていただきたい。</li> <li>・産業教育振興予算の拡充に関する要望は重要であり、装置の維持、メンテナンスだけでなく、設備機器の新型への更新費用の要望が必要である。</li> <li>・専門高校における教育活動を十分に理解いただけるよう、広報活動やインターンシップ等の機会拡充が必要と考える。</li> <li>・大学との高大連携は今後さらに進める必要がある。</li> <li>・大学進学者増の要望はさらに強めるべきである。</li> </ul>
		幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して要望することが重要</li> <li>・一層の連携が必要</li> <li>・大学については資格入試の連携の強化も必要</li> <li>・生徒の進路幅が広がるように、粘り強く働きかけて欲しい。</li> <li>・会員大学の増加にも取り組みをお願いしたい。</li> <li>・産業界と学校界のコンソーシアムを開催してはどうか。</li> </ul>
産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業 (講演会)	令和3年度	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界が求めるものも変化しているので継続は必要である。</li> <li>・コロナ禍であっても、オンライン開催をご検討いただきたい。</li> <li>・昨年度の講演会は、オンライン開催であったが上々であった。</li> <li>・学校関係の参加は、校長だけでなく教員も参加できるよう拡大されたい。</li> <li>・講師の選定にも幹事会からの要望を求める。</li> <li>・技術が日進月歩進む中でこの取り組みは重要であり、ぜひテーマを練って継続すべきである。データサイエンス、スマートファクトリー(インダストリー4.0)、SDGs、カーボンニュートラル、DXなどのテーマの講演)</li> </ul>
		幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化が激しい折、新しい内容を学べるこの機会は継続していただきたい。</li> </ul>

<b>産業教育に関する教員の研究活動、研修などに協力する事業</b>  <b>(会社・大学見学・実技講習会)</b>  <b>(会社・大学見学・実技講習会)</b>	令和3年度	理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の取組みや最新の研究内容を共有することにより、授業実践や進路指導に活かす教員の研究活動、研修は必要である。</li> <li>・ニーズは多様化しており、実態把握は必要である。</li> <li>・是非実施していただきたい事業である。</li> <li>・会社・大学見学会では、卒業生の就職・進学先の訪問は有意義である。訪問先での卒業生との懇談ができれば非常に良いのではないか。</li> <li>・工業に関する製造業ではあらゆる分野でコンピュータを駆使した高度化、省力化が進められているので知識として知っておく必要がある。</li> </ul>
		幹事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業のニーズとマッチした研究・研修が必要である。</li> <li>・工業科以外の教員も参加できる内容で良かった。</li> <li>・製造業だけでなく、幅広い分野の見学・研修を希望</li> <li>・特に新設学部創設の大学を見学したい。</li> <li>・専門高校卒業生の活躍する姿を確認したい。</li> </ul>
<b>生徒に対する研究活動の奨励</b>  <b>(研究文・作文)</b>	令和3年度	理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門高校生の日々の研究の成果を発信するため、不可欠な事業と考える。</li> <li>・幹事会からの意見に賛同、特に日々の教育活動の成果発表として活用されるよう期待する。</li> <li>・さらに多くの学校・生徒の参加を期待したい。</li> <li>・専門高校への受験者の減少があり、中学校への関わりの検討を協会として取り組んでいただきたい。</li> <li>・優秀賞については、実業教育協会や専門高校のHPに掲載してはどうか。</li> <li>これらの実態が中学生の目に留まるようにする努力が必要である。</li> <li>・重要な取り組みであるが、指導する教員へのサポートや研修が必要と思われる。</li> </ul>
		幹事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の先生方や保護者、中学生に聞いてもらえるような取り組みは良いと考えます。</li> <li>・日々の教育活動の成果発表として活用すべきである。</li> <li>・課題研究等の成果が専門高校の魅力であるので、多くの学校の参加を期待したい。</li> </ul>
<b>専門高等学校優良卒業生の選奨</b> (産業教育振興中央会、大阪実業教育協会・大阪産業教育振興協議会の事業) <b>(教育功労者・優良卒業生表彰)</b>	令和3年度	理事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や指導者のモチベーションアップになるなら継続すべきである。</li> <li>・生徒の励みになるので是非とも継続すべきである。</li> <li>・専門高校生の研究活動に対する意欲向上に寄与しているため、継続していただきたい。</li> <li>・幹事会からの意見に賛同、特に日々の教育活動の成果発表として活用されたい。</li> <li>・各学校のリーダーシップに期待したい。</li> </ul>
		幹事会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の励みになるので、継続してほしい。</li> <li>・表彰の歴史や背景も説明して重みを感じさせたい。</li> </ul>

協会基礎強化 の取組み	令和 3 年 度	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業界等へ、当協会の事業活動状況や専門高校生徒の日々の教育活動をどのように伝えるか、情報発信の強化や広報活動に今一度工夫されてはどうか。</li> <li>・ 貴協会の取組や実績・成果のさらなる発信が必要であると考えます。</li> <li>・ 会員の増加に対する有効な施策を検討する必要があります。</li> <li>・ 本協会への参加と企業の採用、大学への進学とが直接にはリンクしない弱点がある。</li> <li>・ 大学会員としては、近畿圏の新設理工学部に対して勧誘する価値はある。 (大和大学、関西学院大学三田、その他)</li> <li>・ 幹事会などにWGを設定して継続的に検討する必要があります。</li> </ul>
		幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 双方のニーズからウインウインの関係で成り立つことが必要</li> </ul>

## 令和4年度 事業計画(案)

令和3年度の事業報告を基に、幹事役員及び理事役員の皆様からのご意見・ご提言をいただき、令和4年度の事業計画(案)策定しました。

- 1 国内産業研修員の派遣
- 2 実業家・教育者・教育行政当局者との連絡協力を図る事業  
(要望書、陳情書)
- 3 産業教育に関する教員の研究活動の奨励及び研修などに協力する事業  
(講演会・研修会・見学研修会(企業、大学)等)
- 4 生徒に対する研究活動の奨励(研究文・作文・体験発表等)
- 5 産業教育功労者の表彰及び専門高等学校優良卒業生の選奨・表彰
- 6 産業教育に関し、公私の諮問に応え、または意見を開申する
- 7 協会基礎強化の取組み
- 8 その他必要と認める事業

## (16) 関連事業・行事

### ◇ 大学入学者選抜に関する要望

文部科学省・大学関係団体 様  
大阪近郊 国・公・私立大学学長 様

令和3年7月20日

## 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望書

### 農業・工業・商業・水産・家庭・看護 情報・福祉の専門学科及び総合学科

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国福祉高等学校長会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

## 専門高校生徒の進学機会の拡大等に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）では、職業に関する教育を行うことにより、我が国の将来を担う専門的職業人を育てるという重要な役割を持っています。

今日、我が国ではAIやIoTなどの急速な技術発展により、産業構造も劇的に変化すると共に、いわゆる Society5.0などが実現する時代に入り、第4次産業革命が進展するなど産業構造も大きく変化し、併せてグローバルな競争も激化してきています。それに伴い、職業に必要とされる知識・技術も高度化し、これに対応した人材の育成が喫緊の課題となっています。

このような中、専門高校の生徒は、専門高校で身に付けた専門的な知識、技術・技能を更に高め、かつ、より高度な資格取得を目指すため、大学、短期大学等の高等教育機関への進学を目指す者が多くなっています。

しかしながら、専門高校はその目的から、普通科の高校とは教育課程も大きく異なり、普通科の生徒を念頭に置いた入学者選抜試験においては、極めて不利な状況にあります。また、

進学等に伴う経済的負担の軽減措置も喫緊の課題です。

このため、高等教育機関へ進学する専門高校の生徒の進学機会の拡大等に係る次の事項について、特段のご理解とご高配をお願いいたします。

- 1 専門高校卒業生を対象とした入学者選抜の実施・拡充
  - (1) 大学入学者選抜における「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の適切な活用及び「専門学科・総合学科卒業生選抜」の積極的な導入
  - (2) 専門教科を取り入れた「大学入学者選抜試験」の実施及び大学入学共通テストにおける積極的な専門教科の実施
- 2 各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定等で取得した資格を大学等における単位として認定する制度の拡充
- 3 「専門職大学・専門職短期大学」の充実
  - (1) 専門高校での専門教育を踏まえた専門職大学・専門職短期大学の設置促進
  - (2) 専門高校の特性を踏まえた活動等を重視した入学者選抜の実施
  - (3) 専門高校での教育を踏まえた連携、継続した「カリキュラム」の編成等（普通科からの入学者との相違を踏まえた「カリキュラム」の設定等）
- 4 高等学校専攻科からの大学編入学希望者の積極的な受入
- 5 大学等進学後の給付型奨学金及び授業料減免制度の拡充・充実

#### ◇ 専門高校生徒の就職に関する要望書

文部科学省・厚生労働省・産業経済団体 様  
〔社〕関西経済連合会・大阪商工会議所・関西経済同友会〕 様

令和3年7月20日

### 専門高校生徒の就職に関する要望書

( 農業・工業・商業・水産・家庭・看護情報・福祉の専門学科及び総合学科)

公益財団法人産業教育振興中央会  
全国産業教育振興会連絡協議会  
全国農業高等学校長協会  
公益社団法人全国工業高等学校長協会  
全国商業高等学校長協会  
全国水産高等学校長協会  
全国高等学校長協会家庭部会  
全国看護高等学校長協会  
全国専門学科「情報科」高等学校長会  
全国福祉高等学校長会  
全国総合学科高等学校長協会

## 専門高校生徒の就職に関する要望

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）は、実験・実習を多く取り入れた実践的・体験的な教育活動により、各種国家資格などの取得に努めるなど、専門的な知識、技術、技能を修得させると共に、社会人・職業人としての勤労観・職業観を身に付けた我が国の将来を担う専門的職業人を育てる重要な役割を果たしています。

今日、我が国ではAIやIoTなどの急速な技術発展により、産業構造も劇的に変化すると共に、いわゆる Society5.0 などが実現する時代に入り、第4次産業革命が進展するなど産業構造も大きく変化し、併せてグローバルな競争も激化してきています。さらに、この一年余り、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大により経済活動も含めた社会全体が危機的な状況に直面し、教育活動はもとより、人と人の交流の在り方が変わるなど、生活様式や就労形態などの社会システムが大きく変化せざるを得ない状況となり、さらに、その長期化も懸念されています。

近年、専門高校卒業生の就職状況は好調を堅持していますが、昨年度は「新型コロナウイルス感染症」の影響を業種によっては少なからず受けており、引き続き就職に関する不確定な要素があることから、就職活動に不安を持っている生徒達も多くいます。各経済団体、各企業、文部科学省、厚生労働省、経済産業省におかれましては、専門高校卒業予定者のための就職機会の確保に向けた次の事項について、引き続き特段のご理解とご高配をお願いいたします。

### 1 専門高校卒業生の採用枠の拡大

企業等における専門高校卒業生の採用枠の拡大及び各種国家資格、専門高校の校長会等が実施する各種検定及び認定制度、農業クラブや家庭クラブ、生徒商業研究発表大会をはじめとする生徒の各種発表会等での活動の実績、インターンシップ等の体験活動を評価した採用

### 2 地元企業等への雇用機会の拡大

地方創生の実現において、地元志向の高い専門高校卒業生の果たす役割は重要であることを踏まえた、地元における雇用創出について特段の取組

### 3 女子採用の促進

男女共同参画社会の実現の上から、女子採用の促進と採用後の就労等についての特段の取組

### 4 適切かつ円滑な就職活動の実施

- (1) 学業を優先した健全な学校教育の実施と適正な就職の機会を維持するための、地域の実情に応じた、いわゆる一人一社制をはじめとした「高等学校卒業生の就職の慣行」の適切な運用
- (2) 「職業安定法」の趣旨・目的を踏まえた選考開始期日（9月16日）の遵守
- (3) 「職場見学・体験・説明会等」の就職に関する情報提供の充実推進
- (4) オンラインによる面接の実施の際、必要となる施設・設備の確保等への配慮

## 公益財団法人産業教育振興中央会関係

### ◇ 令和3年度 第1回常務理事会

令和3年5月14日(金) 10:00~11:00 (Webにて開催)

#### 議題

- ・令和3年度事業活動
- ・令和3年度第1回通常理事会の議題整理等

### ◇ 令和3年度 第1回通常理事会

令和3年5月20日(木) 10:30~11:30 (Webにて開催)

#### 議題

- ・令和2年度事業報告(案)について
- ・令和2年度収支決算(案)について
- ・任期満了に伴う会長及び顧問の選任
- ・参与及び学校代表委員の選任等

### ◇ 令和3年度 第1回通常理事会

令和3年10月15日(金) 11:00~ (Webにて開催)

#### 議題

- ・参与及び学校代表委員の選任等
- ・令和3年度上半期実施諸事業の承認について
  - ①「令和3年度産業教育改善に関する特別研究」助成対象者の決定について
  - ②「令和3年度御下賜金記念産業教育功労者表彰」被表彰者の決定について
- ・臨時評議員会の開催(書面審議)について
- ・理事離任に伴う理事候補者(案)について

### ◇ 会員の状況 (令和2年度)

- ①産業経済界・各団体 50団体
- ②学校会員 1,701校 個人会員 207名
- ③賛助会員 1団体

### ◇ 令和3年度全国産業教育振興会連絡協議会総会

及び公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議開催を中止

なお、詳細な内容については、冊子「産業と教育」令和平成3年6月号~7月号824~825号「本会の関係行事」を参照してください。

## 第31回全国産業教育フェア埼玉大会 ーさんフェア埼玉2021

「夢と技術 彩の国から未来へ」

- 1 期 日 令和3年10月30日(土)
- 2 オンライン開催 (インターネット特別サイト)  
配信会場 ・ウエスタ川越(メイン会場)  
・埼玉県立川越総合高等学校

第 32 回全国産業教育フェア青森大会　－さんフェア青森 2022

「響かせよう産業の音色　～縄文の風吹く青森で～」

- 1 期　　日 令和3年10月15日(土)～16日(日)
- 2 会　　場 ・新青森県総合運動公園マエダアリーナ(メイン会場)
- ・東奥学園高等学校
  - ・浜町埠頭(実習船青森丸一般公開)
  - ・アップルパレス青森
  - ・青森県武道館

◇全国産業教育フェア開催都道府県一覧

第1回	H3	千葉県	千葉市	第17回	H19	沖縄県	宜野湾市他
第2回	H4	静岡県	静岡市	第18回	H20	大阪府	大阪市他
第3回	H5	富山県	富山市	第19回	H21	神奈川県	横浜市他
第4回	H6	京都府	京都市	第20回	H22	茨城県	つくば市他
第5回	H7	和歌山県	和歌山市	第21回	H23	鹿児島県	鹿児島市他
第6回	H8	山形県	山形市他	第22回	H24	岡山県	岡山市
第7回	H9	群馬県	群馬県	第23回	H25	愛知県	名古屋市他
第8回	H10	福岡県	福岡市	第24回	H26	宮城県	名取市他
第9回	H11	島根県	松江市他	第25回	H27	三重県	伊勢市他
第10回	H12	徳島県	徳島市他	第26回	H28	石川県	金沢市他
第11回	H13	岐阜県	岐阜市	第27回	H29	秋田県	秋田市
第12回	H14	岩手県	盛岡市他	第28回	H30	山口県	山口市他
第13回	H15	北海道	札幌市	第29回	R1	新潟県	新潟市他
第14回	H16	広島県	広島市他	第30回	R2	大分県	別府市
第15回	H17	東京都	東京都	第31回	R3	埼玉県	川越市
第16回	H18	埼玉県	埼玉市他	第32回	R4	青森県	青森市